

鳥取県保健師チームの引継書（第18班）

河北町での活動の概要：第18班【平成23年5月30日（月）～6月3日（金）】

1 関係職員

石巻市役所健康推進課…伊藤保健師（課のコーディネーター、活動の大まかな計画を連絡）石巻

市役所健康推進課：0225-95-1111

伊藤保健師：090-4554-2515

河北総合支所（4月9日～）西條保健師、高島保健師

西條保健師：090-2988-2722

千葉保健師（4月から介護保険の部署へ異動）

※原則は4勤2休でシフト勤務。宿直勤務あり変則。

鳥取県対策本部石巻市役所常駐（30名）…必要時、情報交換、職員の状況を報告

隊長（約一週間交替）二週間の者もあり。

090-5708-4153

2 主な1日のスケジュール

9：00 河北総合支所到着後、保健師に本日の計画について報告

（当初石巻市役所を経由していたが第7班以降は支所へ直行。）

（午前）活動

（昼）適宜、昼食

（午後）活動→河北総合支所に記録後、支所保健師に報告

要フォロー者がある場合、午後4時からの医療チームとのミーティングに参加。

※初日は、顔つなぎで出席した方がよい。※6月4日（土）は開催なし。

■第1～4班1日目まで：公設避難所のスポット対応

（課題）医療チーム、心のケアチーム、保健チームが、2～3巡目となり、かち合うようになった。（*）同じ対象者に、違う役割のスタッフが重ねて同じ質問をするなどの問題が浮上。

■第4班2日目～：河北地区を継続して担当し、ビッグバン（避難所）の避難者マップを作成

■第5班：避難者マップの更新・自宅避難者（乳幼児のいる家庭を中心として）の状況把握（河北地区巡回訪問）

■第6班：ビッグバン（避難所）の避難者マップ更新、飯野川小・飯野川中の状況把握

■第7班：飯野川小学校・飯野川中学校避難者マップ作成

■第8班：ビッグバンの避難者マップ更新、飯野川中学校、飯野川第一小学校のマップ作製、随時更新。

■第9班：ビッグバンの要フォロー者へのピックアップ訪問。避難所マップ更新。

飯野川第一小学校、飯野川中学校の看護師と情報共有。

総合支所保健師の今後の保健活動検討会議に参加。

1歳6ヶ月健診フォロー児への訪問。

■第10班：横川地区訪問、ビッグバン巡回

■第11班：横川地区、針岡地区、入釜屋地区訪問、地区のマップづくり（医療情報・家族情報を地図に落とす）

■第12班：11班の家庭訪問の継続、地区のマップ作り

■第13班：横川地区、針岡地区、入釜屋地区の不在だった家庭を訪問、マップ作り、訪問台帳整理、避難所巡回（ビッグバン、飯野川中学校、飯野川小学校）

■第14班：谷地地区、牧野巣地区の訪問

- 第15班：谷地、牧野巣地区の不在だった家庭を訪問。中野地区の訪問開始。マップの整理、訪問台帳整理
- 第16班：中野地区の不在だった家庭を訪問
馬鞍地区の家庭訪問（マップ作り後に開始）、訪問台帳整理
避難所巡回（ビックバン、飯野川中学校）
皿貝地区の家庭訪問（マップ作り後に開始）、訪問台帳整理
- 第17班：皿貝地区家庭訪問、訪問台帳整理、中島地区マップ整理
- 第18班：中島地区の家庭訪問、訪問台帳整理、元相野谷地区マップ・訪問実施状況一覧準備、避難所巡回（飯野川中学校）

(*) ビックバン他チームの概要

- ・日赤病院外来診療（無料、開設時間は多少不定期、館内アナウンスにより受診可）
→5月末で撤退予定
- ・近くに開業医開設（有料、掲示板に一覧表掲示）
- ・宮城県看護協会看護師1名（24時間×3日→休み1日の繰り返し）
- ・市立病院看護師2名（避難者＝ボランティア的活動）
- ・NPO看護師1名（常駐）
- ・河北地区社協ヘルパー4名（朝、昼、夜のスポット支援）
- ・4月1日～看護師3名、ヘルパー1名のチーム（4日間スポット支援）
- ・CLC（コミュニティーライフセンター）介護福祉士等

3 今後考えられること、活動方針

- ・中島地区を全戸訪問中。初日に、民生委員及び行政委員（区長）に面接し、地区の概況や気になるケースを把握した。要支援家庭については、訪問済み。
→全戸訪問ではあるが、今後も優先順位を定め適切な支援を行うためには、支所保健師及び上記地区役員から情報を得た上で訪問した方がよいと思われる。
→要フォロー者は、医療チームとのカンファレンスに提出し、支援方針を協議。
支援がつながり、それぞれの役割分担が整理されてきている。
- ・直接的な被害は、家屋の一部（屋根・塀）が壊れた程度であるが、沿岸部の職場や入院中の家族を津波被害で亡くしたり、一度に十数人の親族を亡くされた者もあった。
- ・介護保険申請をした者も、認定調査後の審査会開催の休止状態が続き、介護認定、サービス開始が遅れている。
→介護度の悪化や家族の介護負担が大きくなる可能性がある。暫定的な公的サービスの提供が困難であれば、当面、ボランティアによるサービス提供が必要となるかもしれない。
- ・避難所生活も2か月半経過し、対人関係のトラブルが生じている。また、衛生状態も悪化し、避難所によっては『ダニ』の発生が報告されている。
今後、湿度や気温の上昇とともに、食中毒や感染症の集団発生に留意する必要がある。
- ・次回訪問地区は、支所保健師との協議の結果、「元相野谷地区」に決定。
今月から乳幼児健診（相談）が開始となる。
→鳥取県保健師に健診・相談運営（問診や計測）に協力してほしいとのこと。
※ 事前学習のため、健康診査票1式を植木が受理。医療政策課をとおして派遣保健師に送付予定。

鳥取県保健師チームの引継書（第30班）

河北支所での活動の概要（第30班→第31班引継事項等）

【基本的な活動スケジュール】

- 7：00 ホテル出発
- 8：50 この時間より早く入らない
支所保健師に本日の活動報告、注意事項確認
- 9：00 活動
- 12：00 昼食
- 13：00 活動
- 15：00 遅くともこの時間までには河北総合支所に帰着し記録作成
- 16：00 支所保健師に訪問結果について報告
- 17：00 河北総合支所出発
- 19：00 ホテル到着

【関係職員】

河北総合支所 西條保健師、高島保健師、千葉保健師（4月から介護保険の部署へ異動）

【現在の活動】

○家庭訪問

<訪問場所>

- ・被害の強かったエリアから順に地区単位で全戸訪問
- ・梨木船渡地区（～7月22日）終了、北境地区（～7月23日）終了
東福田地区（～7月27日終了）

【現在】飯野川地区（仲町）の優先訪問者を民生委員、行政委員に聴取し訪問（第30班は仮設住宅の訪問を優先したため、訪問できず）。

7月28日から、仮設住宅（追波グランド川前）の1号棟から訪問。西條保健師担当エリアを順次訪問し、8月2日で概ね終了。3日以降は、三反走仮設住宅に活動の場を移す予定（大分県チームから引継ぎ）。

- ・現在までの鳥取県チームの要継続ケース訪問（7名）
うち、31班の訪問ケース5件 ※詳細は要フォロー者一覧表参照
→要継続ケースは要継続用ファイル（ピンク色）に綴じる。

<聴取内容>

- ・全戸訪問では 面会した人は誰か確認
世帯全員の健康状況・受診状況の確認
運動機能や生活状況 介護保険申請状況やサービス利用状況
被害の強かった地域からの避難者の有無 等を聞き取る。
- ・今後の方針が「要フォロー」の方について
まず、支所保健師に報告及び相談の上、①鳥取県チーム継続、②支所の保健師に引継ぎ
③必要なケースは医療チームとのカンファレンス（毎日16時～から2階会議室）に提出し支援方針を協議する。

<住宅への家庭訪問時の注意>

- ・新たな地区の訪問開始時は支所保健師に連絡を入れていただいた後、初日に民生委員宅及び区長宅を先ず訪問し挨拶を行うとともに、地区内の気になる家庭等について情報収集を行う。

- ・野川地区は民生委員及び区長からの情報を元に訪問先をピックアップする。(仲町のみ情報収集済み)
- ・各家庭の訪問時は「河北総合支所から来た保健師です。震災後の健康状況を確認させていただくため訪問させていただいています」等声かけをする。
- ・訪問1回目不在の場合2回目の訪問を実施。2回目以降訪問しても不在の場合は「不在家庭用伝言メモ」をポストに入れ終了とする。
- ・訪問台帳の地図に訪問終了したお宅には色マーカーで印を付ける。
地図に1回不在は「レ」、2回訪問不在は「×」印を付ける。
- ・訪問時持参品 血圧計 「不在家庭用伝言メモ」 保健師証明書 訪問台帳
子育て新センター開始のお知らせ 色マーカー バインダー
その他チラシ類

<訪問後の報告>

- ・支所保健師に毎日の活動報告を行う。
- ・活動報告書と健康相談票(ある時のみ)を提出する。
(鳥取県のパソコンからは印刷できないので、USBに落として支所保健師のパソコンで印刷する。USBは1個又は西條保健師の一番上の引き出しに入っているのを使用して可)
- ・活動報告書が当日中に作成できなかった場合は翌日渡す。

○仮設住宅訪問調査

河北管内の仮設住宅を訪問し入居者の調査を行う。訪問前に世帯票を打ち出し、世帯構成を確認。仮設住宅入居世帯健康調査票の内容に基づいて聞き取りを行う。要フォロー者は河北支所の保健師へ引き継ぐ。

<河北支所管内仮設住宅>

	世帯数	備考
三反走	90	支所保健師が調査中。大分県チームから鳥取県チームへ引継ぎ。8月3日から鳥取県チーム開始。
追波グラウンド川前	91	支所保健師が調査中。7月28日から鳥取県チーム開始。西條保健師担当エリアを順次訪問し、8月2日で概ね終了。
追波多目的	103	7月23日入居説明会。 入居説明会后1～2週間後に多くの方が入居するため、調査もその時期以降に行った方が良い。
大森	450	7月中旬完成予定で7月19日抽選会だったが、まだ完成していない。入居者は河北以外の地域の方が多いと思われる。

○活動記録

①活動報告書→鳥取県庁用

毎日作成し支所保健師報告に活用。県庁送信(防災DBに貼付)。
支所保健師にも提出。

②訪問実施状況一覧(地区ごと)

Cドライブのエクセルファイルを訪問後は更新する。

- ・訪問して会えたら水色にする。
- ・訪問日、班名、不在、避難者のある人は○ 関係記載
- ・要フォローは黄色にし、内容を記載。
- ・世帯全員 死亡、引っ越しはグレー色にする。
- ・その地区の活動が終了したら印刷してファイルと一緒に閉じる。

- ・終了していない地域はピンク。
 - ・要フォロー（黄色の人）は申し送りシートに貼り付ける。
- ③保健活動実施報告書（日報）
- ・23班4日目より 対応内容の内容記載の際 面会した実人員となる様に計上。
（相談内容が2種類以上ある場合は主な内容のみ計上する）
 - ・合計のその他の所に訪問件数とそのうち何件が不在だったかを記載する。

④家庭訪問一覧表

- ・あった人全てを記載。
- ・不在も記載（今後の方針は記載しない）。

⑤健康相談表（要フォローケースの記録）

- ・家庭訪問一覧表で「要継続」の場合作成する。一部コピーして支所保健師に渡す。
- ・継続訪問していく場合は継続訪問用紙を使う。

<仮設住宅訪問調査>

- ・上記の①、③、④、⑤と仮設住宅入居世帯健康調査票、メンタルチェック票（であった方全員）を記載し、各仮設住宅ファイルにとじる。支所保健師へ報告。
- ・訪問調査が終了した家庭は、仮設住宅のファイルの一覧表にチェックをする。

○活動準備

<新たな地区訪問の準備>

- ① ゼンリン地図及び仮設住宅の入居者一覧表をコピー
- ② 世帯情報の打出
- ③ 地区訪問の場合は、モバイルパソコンNo5のCドライブの被災地派遣関係ファイルにある「★（要更新）訪問実施状況一覧」に名簿作成
※訪問が終了した地区のファイルは、7番の棚にしまうこと。

○他県派遣者との情報交換会（毎週水曜日）

時間 16:00～17:00

場所 石巻市保健相談センター2階指導室（石巻市役所のそば）

内容 健康支援チームとして全国から派遣されている保健師の意見交換の場
集まった保健師が輪になって支援の進捗を報告
フリートークで日々の活動で困ったこと、辛かったこと、嬉しかったこと、個人が抱えている思いを話せる場になっている。

○その他

- ・仮設住宅に訪問する前に、仮設住宅に入居している行政区域の被災状況を事前に視察しておく、訪問時に共感して話が出る。
- ・7月1日から大分県チームも河北支所の支援に合流し全戸訪問中（大分県は現在三反走仮設住宅訪問中）。8月2日からは市役所に活動の場を移す。
- ・モバイルNo5をメインに使用し、モバイルNo16はサブ使用とする。次チームに引き継ぐ前に、No5のCドライブデータをNo16のCドライブにコピーする。

次の班へ引継ぎ時、統括保健師（伊藤さん）に引継ぎの挨拶【電話】をする

TEL 0225-95-1111（健康推進課）